

TOPIC 10 卒業回生早見表

生まれた年度と卒業年次によって何回生かがわかる早見表です。卒業当時の校長先生、各クラスの担任の先生方のお名前も併記しております。懐かしい恩師にお会いになりたいという方は是非、同窓会役員へご連絡ください。現在の勤務校等、同窓会で把握している範囲で情報提供可能です。

回生	生まれた年度	卒業年	在職校長	卒業年次 組担任										
				1組	2組	3組	4組	5組	6組	7組	8組	9組		
1	1967	S42	1986	S61		吉光 章喜	佐藤 典郎	伊藤 峰視	浅沼 一夫	関 訂	梁川 武治	千葉 元信	渡辺 忠明	
2	1968	S43	1987	S62	加藤 暢郎	佐藤 典郎	齋藤 光次	渡部 孝	武林 恵子	浅沼 一夫	澤村 茂	狩野 宗憲	早川 克文	
3	1969	S44	1988	S63		渡部 孝	菊池 由和	鈴木 秀夫	熊谷 桂二	木村 淳	福田 誠	山下 雅範	奥山 雅敏	
4	1970	S45	1989	H1		小野寺 宏	吉光 章喜	一條 忠美	堀川 和義	狩野 宗憲	櫻井 宏一	武林 恵子	千田 孝彦	
5	1971	S46	1990	H2	湯本 眞哉	佐藤 典郎	青山 純	渡部 孝	太田 健治	河岸 博子	浅沼 一夫	齊藤 安正	澤村 茂	
6	1972	S47	1991	H3		佐藤 典郎	伊藤 峰視	和泉 安信	粕谷 淳子	熊谷 桂二	木村 淳	菊池 由和	福田 誠	
7	1973	S48	1992	H4		狩野 宗憲	菊池 豊	澤村 茂	渡部 孝	小野寺 宏	遠藤 宣廣	堀川 和義	櫻井 宏一	井口 雅夫
8	1974	S49	1993	H5		浅沼 一夫	青山 純	一條 忠美	齊藤 安正	谷藤 正樹	河岸 博子 (狩野 宗憲)	山下 雅範	太田 健治	
9	1975	S50	1994	H6	沼田 啓充	渡部 孝	菊池 由和	大宮 和子	秋元 一郎	熊谷 桂二	千田 孝彦	阿久津三枝子	鎌田 幹夫	
10	1976	S51	1995	H7		阿部 翼	菊池 豊	佐伯 聖一	菅原 一比古	武林 恵子	小野 泰治郎	堀川 和義	小野寺 宏	井口 雅夫
11	1977	S52	1996	H8		梅田 茂	玉井 秀明	斎藤 文弘	志村 和治	上西 亮子	渡部 孝	狩野 宗憲	大谷 豪生	
12	1978	S53	1997	H9	菅野 政夫	青山 純	一條 忠美	玉井 秀明	熊谷 桂二	鎌田 幹夫	菅原 一比古	菊池 潤	樽野 幸義	
13	1979	S54	1998	H10		佐藤 春作	菅原 久夫	大橋 由紀子	高瀬 琢弥	町田 尚彦	笠原 哲雄	芳賀 誠	谷藤 正樹	
14	1980	S55	1999	H11	遠藤 宗雄	加藤 徳善	飛鳥 貴	斎藤 文弘	伊藤 浩	小野寺 雄一	樽野 幸義	三浦 全郎	遠藤 厚志	
15	1981	S56	2000	H12		栗原 虔治	菅原 美	奥山 恭子	高橋 隆一	半田 千里	樽野 幸義	金澤 潤	末木 正信	
16	1982	S57	2001	H13	岡崎 忠	北爪 郁子	青山 勝	町田 尚彦	堀籠 亮一	佐藤 春治	菅原 久夫	玉井 秀明	大橋 由紀子	
17	1983	S58	2002	H14		飛鳥 貴	齋藤 孝志	小野 均	梅森 修二	半田 千里	伊藤 浩	伊藤 博之	川村 恵理子	奥山 恭子
18	1984	S59	2003	H15		渡部 知子	青山 勝	加藤 徳善	佐藤 浩志	金澤 潤	細倉 浩	木村 篤史	畠山 晶子	浅野 行廣
19	1985	S60	2004	H16	花井 弘美	岩淵 伸夫	渡部 知子	山本 肇	佐藤 光二	小野 善広	堀籠 亮一	宇都宮 満	北爪 郁子	
20	1986	S61	2005	H17		佐々木 智子	菅原 謙一	富岡 久喜	川村 恵理子	黒澤 弘	奥山 恭子	宇都宮 満	小野 勝	
21	1987	S62	2006	H18		神保 義信	村松 昌子	桂島 猛	飛鳥 貴	手代木 章宏	秋山 直樹	青山 勝	菅原 淳	
22	1988	S63	2007	H19		佐藤 春治	佐藤 浩志	鶴岡 文彦	佐竹 潤一	岩館 裕章	青柳 啓介	雪江 美穂	庄司 清彦	
23	1989	H1	2008	H20	高津 律子	菅原 謙一	奥山 恭子	池田 秀樹	木村 剛	木村 篤史	宇都宮 満	鈴木 秀利	富岡 久喜	
24	1990	H2	2009	H21		高橋 由紀	上杉 茂樹	青柳 啓介	村松 昌子	村上 悟	富永 明	愛澤 英治	黒澤 弘	
25	1991	H3	2010	H22	佐藤 富夫	池田 秀樹	針生 智之	横山 佳司	菅 修一郎	岩館 裕章	鶴岡 文彦	庄司 清彦	千葉 薫充	
26	1992	H4	2011	H23		小野寺 章	菅原 謙一	木村 剛	大場 緑	桂島 敦	斎藤 秀美	松本 尚樹	鶴岡 文彦	
27	1993	H5	2012	H24		林 宣子	木村 敬二	田中 由紀	青柳 啓介	横山 佳司	富永 明	村上 悟	沼田 秀樹	
28	1994	H6	2013	H25	小笠原 朋之	藤崎 統康	森谷 浩明	針生 智之	池田 秀樹	小山 裕之	西澤 崇	高橋 文	天川 葉子	
29	1995	H7	2014	H26		梅村 聖一	木村 剛	茂野 真喜子	秋山 和士	小山 裕之	水上 智子	浅沼 謙一	小野寺 章	
30	1996	H8	2015	H27	松本文弘	西澤 崇	二階堂 芳輝	松本 尚樹	横山 佳司	長谷川 拓美	阿部 人志明	扇谷 健	林 宣子	
31	1997	H9	2016	H28		渡邊 朗	千葉 祥	川村 晃史	大内 千枝	水上 智子	平野 茂	佐藤 和之	池田 秀樹	
32	1998	H10	2017	H29	澤田 可知	茂野 真喜子	森谷 浩明	水上 智子	菅原 謙一	川上 秀一	佐藤 英人	小野寺 章		
33	1999	H11	2018	H30		大森 靖恵	長谷川 拓美	池田 秀樹	三浦 誠吾	北川 武	三浦 美奈子	西澤 崇		
34	2000	H12	2019	H31		近藤 純	大森 貴文	村上 健一	川嶋 伸二	富永 明	山口 昌己	小齋 勝史		
35	2001	H13	2020	R2	武田 元彦	三瓶 吉人	北條 大輔	川嶋 伸二	宮嶋 寿美枝	勝亦 浩之	赤坂 聡子	水上 智子		
36	2002	H14	2021	R3		山内 佳子	坂本 陽子	扇谷 健	今野 享	佐々木 弘明	三浦 美奈子	山口 昌己		
37	2003	H15	2022	R4		大森 貴文	新井田 将光	長谷川 拓美	千葉 雅裕	早川 潤	大森 靖恵	狩野 わか子		
38	2004	H16	2023	R5		三瓶 吉人	宮嶋 寿美枝	小針 聡美	赤坂 聡子	登坂 如恵	佐々木 弘明			
39	2005	H17	2024	R6		大塚 大	滝ヶ平 拓	泉 洋祐	今野 享	三浦 美奈子	亀山 瑠依			
40	2006	H18	2025	R7	櫻井 知大	坂本 陽子	深田 祐馬	新井田 将光	大友 正治	大森 靖恵	高橋 洋			

Abies

2025.02.28

翠 樅 会 宮城県泉館山高等学校同窓会



宮城県泉館山高等学校同窓会

〒981-3211 宮城県仙台市泉区長命ヶ丘東1 宮城県泉館山高等学校内
 Tel. 022-378-0975
 Facebook
<http://www.facebook.com/groups/215259171873714/>

最新情報、総会・懇親会の申し込み、
 および住所変更等のご連絡はこちらから▶
<http://www.izumitateyama.jp/>





庄田 圭佑
宮城県泉館山高等学校同窓会 会長
17回生

同窓会長あいさつ

みなさんこんにちは。会長の庄田でございます。常日頃より、同窓会の運営に対しまして、櫻井校長先生をはじめとした学校教職員の皆様、そして同窓生や在校生の皆様からの格別なるご高配に対し厚く感謝申し上げます。

今年本会が設立されてから40年の節目を迎えます。毎年恒例となっている8月の同窓会総会・懇親会は盛大な会にしようと、役員一同で企画を練っている最中です。

さて、同窓会は母校の更なる発展と在校生の支援を目的に活動しております。これまでは同窓会報などを通じて卒業生と在校生を繋いできましたが、必ずしも接点が多くなかったことから、昨年度は顕著な功績を収めた生徒に対する褒賞制度を新たに創設しました。

また、今年と同窓会40周年記念事業として、紅白幕及びテントを寄付するとともに、マフラータオルを作成し販売することにいたしました。販売詳細は調整中ですが、受け取りに関しては、できるだけ皆様にご負担を掛けない形を考えております。引き続き、本会の目的を達成

するために皆様と共に歩みを進めて参ります。

また、長らく同窓会の会務をお支えいただいた佐々木先生が今年度一杯で離任されることとなりました。この場を借りまして、これまでのご協力に心より感謝申し上げます。新天地でのご活躍をお祈り申し上げます。

現在40年の節目となる同窓会総会・懇親会を企画している点は冒頭触れた通りですが、同窓会役員もフレッシュな顔ぶれ…とは言い難い熟練メンバーが中心となっており、会の更なる盛り上がり図る観点から、卒業して間もないフレッシュな同窓生のご意見を頂戴でしきたいと考えています。我こそはという同窓生からのご連絡お待ちしております！

なお、今年の同窓会総会は8月10日(日)15時からパレスへいあんで開催予定です。嬉しい学生特典付きです

結びになりますが、我々役員一同も、設立40周年を契機に更なる同窓会発展に向けて努めて参りますので、同窓会活動への引き続きのご理解・ご協力をお願い申し上げます。

笑い合い、友情を深めました。

特に3年生で迎えた日々は、忘れることのできない貴重な時間でした。泉三校定期戦では、全力で声を出して仲間達を応援する喜びを感じ、8連覇を達成することが出来ました。翠樅祭では生徒一人ひとりの熱意が籠もったステージや展示が校内を彩りました。当たり前だと思っていた青春が、こんなにも尊く感じられるのは、きっと私たちが一度それを失いかけた経験を持っているからでしょう。

この特別な3年間を支えてくれたのは、共に笑い、支え合った仲間たち、そして私たちを見守り、環境を整えてくださった先生方のおかげです。

これからの泉館山高校は、私たちの後輩達が、自分たちらしい新たな青春を描いていく時代になります。私たちがこれから入会させていただく同窓会の活動によってその挑戦を後押しし、未来を支える一助となることができれば、これ以上の喜びはありません。



櫻井 知大
宮城県泉館山高等学校 校長

校長あいさつ

日頃より本校の教育活動に御理解と御協力をいただき、誠にありがとうございます。

感染症対策により使用制限しておりました翠樅会館は、昨年度の制限解除以降今年度も、課外講習、合宿、リーダー研修会をはじめ生徒の緒活動に大いに活用させていただいております。

また、創立40周年記念事業で昨年度末整備完了となった中庭やロータリーは、今年度、生徒の憩いの場となっているほか、昨年末のイルミネーションイベントの会場としても素晴らしい時間を過ごさせていただきました。

そのほかにも、創立40周年記念事業記念品として作成いただいたティム君のイラスト入りマフラータオルを1年生全員に配布していただくなど、同窓会の皆様への感謝はつきません。

さて、今年度は、新しい高等学校学習指導要領の完成年となり、1年生から3年生の全ての生徒が新課程で学んでいます。今回の学習指導要領では、探究活動の充実、教科等横断的な学びの充実、地域等との連携活動の充実、ICTの利活用促進等が目指されており、各教科には新科目(例として「言語文化」「公共」「地理探究」「論理・表現I」)があります。同窓会員の皆様は高校時代には無かった科目ですので、何をどのように学ぶか、そもそも何の科目かなど、イメージが難しいかもしれません。)が設置され、「大学入試共通テスト」(同窓会員の皆様にとっては「共通一次試験」「大学入試センター試験」でしょうか。)にも新たに「情報I」が置かれるなどしています。

このような中、本校の今後のありかたを探る手立てとして、昨秋第36回生(当時の学年主任:小村田達也教諭)の皆様にご協力いただき現況調査を行いました。お忙しい中、調査に御協力いただきました第36回生の皆様には、この場をお借りして感謝申し上げます。調査結果からは情報技術・通信系への就職者(希望者)の割合が大きいたことが読み取れました。国際機関や国が近年指摘する、デジタル人材への社会ニーズの高まりや急激な社会変化を学校として改めて実感しているところです。

本校は社会の変化に対応する取組みの端緒として、現在、文部科学省から「DXハイスクール」の指定(事業期間:2025年~2028年)を受け、今後、高性能パソコン、3Dプリンター、プログラミングドローンなどを活用した学びの実践研究を進めていくところです。

また、今年度、有志生徒による「館高防災ジュニアリーダー」を立ち上げました。いつ何時発生するかわからない災害等から自分や大切な人の守る力を身に付けるとともに、高齢化や災害対策をはじめとする地域課題に向き合っていく取組みをすすめています。

引き続き、創設以来の「自律」「敬愛」「貢献」の校訓のもと、誇りある歴史と伝統、学校文化を基盤としつつ、変化の激しい時代においても、泉館山高等学校が泉館山高等学校であり続けられるよう、そして、生徒ひとりひとりが「生きる力」としての「館高力」をしっかりと身に付けられるよう教職員一同力を尽くして参りますので、一層の御支援、御協力をいただきますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。



川田 あかり
宮城県泉館山高等学校 40回生
生徒会長

2025年を迎え、心新たに一人ひとりが様々な抱負を胸に日々を過ごしていることと思います。昭和58年に館山高校は開校し、以来自律、敬愛、貢献の精神を育む地域から愛される学校として歩みを続けてきました。今年で創立42周年を迎えた館山高校は50周年、そして100周年へ向けてさらに高みへと躍進して行くことでしょう。

改めてこの3年間の高校生活を振り返ってみると、何物にも代えがたい特別な時間だったと感じています。私たちが入学した年は、まだコロナ対策の影響が色濃く、行動や活動に多くの制限が課されていました。しかし、それを悲観するのではなく、今できることを最大限に楽しみたいという思いを胸に、少しずつ前を向いて歩んできたのが私たちの世代だったと思います。そしてその希望は現実となり、2年生からはコロナ禍以前の規模で校内外の活動が再開され、3泊4日の修学旅行では、同じ景色を共有しながら



コツコツ積み上げた 努力は決して裏切らない

学生時代の畠山さんはバレー部の活動に全力投入。仲良しの仲間たちと楽しい部活動に明け暮れました。部活引退後は、受験勉強に本気で取り組み希望の大学へ進学、新卒で上京し広告業界で長く活躍後、故郷に戻りピラティスのスタジオを経営されています。



畠山 翔子さん 23回生

広告業界でキャリアを築いた後に地元仙台へUターン。主にマーケティングや販促支援を行う会社を起業。(株)付箋企画代表取締役CCO

女バレーの思い出はトレーニングルーム

17年ぶりに卒業してから初めて、母校を訪問した畠山さん。図書室で卒業アルバムを見ながら高校生の時の思い出を引き出してもらいます。

高校時代の一番の思い出の場所と感じる場所は、バレー部の一員として部活動に明け暮れていた体育館と体育館裏の部室棟一階にあるトレーニングルーム。

当時の女子バレー部は、女子の部活としては珍しくウエイトトレーニングにも力を入れていたということで今も様々な機器やパーベルが置いてあるトレーニングルームで当時のお話を聞かせてもらいました。

当時のバレー部のメンバーはみんな仲良しで部活動が本当に楽しかったとのこと、今でもそのつながりは続いていて、時々はみんなで会食されているそうです。



女バレー部の卒アルの部活写真もトレーニングルーム



受験勉強に打ち込んだ渡り廊下の自習机

部活も勉強も努力の分だけ成長する

高校生当時から今の自分につながる気づきや発見はありましたかと尋ねたところ、「コツコツと努力した分だけ自分が成長できるんだっていう実感でしょうか。」との畠山さんの答え。仲間と一緒に頑張った部活を通じて、直向きな努力の大切さを学んだ畠山さんは部活引退後、上京し自身が希望する仕事に就くという夢に向かって受験勉強にも本気で取り組んだそうです。「2階にある購買で飲み物を買っては中庭を眺めながらよく勉強してましたね。」その甲斐もあって、見事進路を実現した畠山さん。大学卒業後、東京での就職も果たし、広告やマーケティングの仕事を経験、元々好きな体を動かすということを軸に地域社会にも貢献したい思いでUターンし、起業されたそうです。想いをカタチにできる自信の源は館山高校のトレーニングルームが源泉だったのです。

挫折や失敗は無意味 を意味しない

強豪校を打ち倒して甲子園に行くという夢を描いて館高に入学した八島さん。選手として臨んだ夏は開幕初日につけなく終わりましたが、28年の時を経て監督として夢を実現することになります。そこに至る道のりは波乱に満ちたものでした。



八島 知晴さん 11回生

聖和学園高等学校 野球部監督として令和6年第106回全国高等学校野球選手権大会に初出場を果たす

ジャイアントキリングを夢見て

小学校3年生から野球を始めた八島さん、館山高校を進路先として意識したのは中学生の時だったとのこと。「公立高校に入り、私立の強豪校を倒して甲子園に行きたい。」そんな想いが湧き立ったところで、近隣の高校として練習風景を目にする機会があり、さらに当時、甲子園に行ける実力を持った野球部の公立校と目されていた当時の館山高校を目指すことは必然だったとのこと。

開会式直後に散った夢

志望した館山高校に入学後、ついに3年の夏の宮城県大会を迎えます。初戦は開会式直後の第1試合。なんと、そこで敢え無く敗退。夏の甲子園へのチャレンジが初日で終わるという挫折を味わいます。次の八島さんの目標は、大学野球で活躍しつつ、将来は高校の教師となって野球部を指導することになります。しかし、大学進学でも2浪したうえに第一志望には不合格、重ねて挫折を味わいます。

大学卒業後は、非常勤講師として公立校勤務の後、共学化して間もない聖和学園に勤務することとなります。同時期、硬式野球部も創部されますが、異なるキャンパス勤務の八島さんは野球に関わることはできませんでした。

しかし、この間、女子サッカー部の顧問国井精一先生（現東北福祉大学サッカー部監督）に出会い、師事し、指導者としての礎を築きます。その後、最初に任された部活動は再生途上で部員が7名の女子ソフトボール部でした。八島さんはこれまでの学びを生かし、2年目で県大会優勝、のちには高校総体3連覇にチームを導きます。

こうして、指導者としての実力が認められ、経験と実績を順調に積み重ねていたところでしたが、不本意ながら部活の指導を離れなくてはならない時間を過ごすことになり



ます。その後、令和元年度に野球部の部長、令和5年度に晴れて目指してきた野球部の監督に就任することになりました。



取材日前日に完成した甲子園出場記念碑

これまでの様々な挫折や失敗は、まわり道は、気づいてみれば八島さんが野球部監督を進めていくうえで様々な糧になっているそうです。高校時代の劣等感が力の源になり、浪人時代の出会いには今も助けられ、ソフトボールでの知見はチーム運営に留まらず、近年の高校野球での低反発バットやタイブレークの導入などのルール改正で、より戦略にもいきているそうです。

そして遂に高校時代、一番早く負けた八島さんが、28年後一番最後に勝利するという快挙を成し遂げたのです。

こうした結果を出すには、高校時代の館山高校野球部の時から培われてきたどうやって相手を超えるか常に「考えよ」という姿勢だと八島さんはお話されていました。

TOPIC 03 今年も同窓会総会・懇親会を開催しました。



令和6年度の総会を8月11日(日)北の味覚処 北の一において約20名の同窓生が参加し開催されました。

昨年度実施した館山高校創立40周年を記念した学校への寄附や各種行事への協賛についての決算報告や昨年度から制度化した褒賞制度の実績等の報告がなされました。総会后、5年ぶりに本格的な懇親会を開催しました。



懇親会には、開校時に勤務していた渡部先生も参加され元気なお姿を見せてくれました。

なお、今年7年度の同窓会総会は8月10日(日)15時からパレスへいあんで開催予定です。右記のQRコードから参加申し込み下さい。



TOPIC 06 令和6年度 部活動の主な戦績



- 運動部 第39回泉三校定期戦 総合優勝(8連覇)
- 弓道部 女子個人インターハイ出場
- 弓道部 東北大会出場
- 文化部
- 囲碁将棋部 全国大会出場
- 放送部 全国大会出場 家庭部 全国大会出場
- 吹奏楽部 東北大会出場

TOPIC 07 吹奏楽部が東北大会へ出場



令和6年8月に開催された第67回宮城県吹奏楽コンクールにおいて泉館山高校が金賞を受賞し、3年ぶり東北大会へ出場しました。東北大会では銀賞ということで残念ながら全国大会への進出はなりませんでしたが、宮城県内でも有数の伝統と実績を誇る吹奏楽部としての実力を如何なく発揮されました。おめでとうございます。

写真は5月に開催された第36回定期演奏会の様子です。

TOPIC 04 同窓会として翠樅祭に出店しました。



令和6年8月30日・31日の両日開催された翠樅祭に、今年度も同窓会として出店いたしました。例年アイスクリームを販売しておりましたが、生徒さんの模擬店と重複したため、急遽、「冷やしき芋」及び昨年作成した記念マフラータオルを復刻し新たに販売いたしました。

「冷やしき芋」は無事完売となり、マフラータオルについては今後も随時販売する予定です。

今後も同窓会として翠樅祭を盛り上げるための一翼を担うべく模擬店の出店に引き続き取り組んで参ります。

TOPIC 05 同窓会報奨金を贈呈しました。



令和6年8月3日～6日に長崎で開催されたインターハイに個人弓道で出場することとなった弓道部3年の池野はなさんへ7月26日に同窓会から報奨金を贈呈しました。

弓道場にて最後の練習に取り組む池野さんへ庄田会長より報奨金を手渡しするとともに激励の言葉を送りました。

本制度は、全国大会等に出場する本校生徒を応援するために令和5年度から制度化され交付を行っています。

同窓会として在学中の後輩の皆さんの活躍の支えになれるよう今後も活用を図って参ります。

TOPIC 08 芋煮会を今年も開催しました。



昨年度に引き続き同窓会主催で令和6年10月14日(土)に芋煮会を開催しました。今回も例年開催している七北田公園の河原で秋晴れの下で開催することができました。

今年も同窓会役員を中心に少人数の開催でしたが、ご家族を連れて参加される方や、例年この会を楽しみに東京からお越しいただく同窓生の方もいらっしゃるなど、同窓生が集まれる恒例行事として、今後も10月の第二土曜日を開催日として継続的に実施してまいりますので、是非ご参加ください。

TOPIC 09 佐々木先生ありがとうございました。



永年にわたり校務の同窓会事務局の担当として、同窓会活動を支えていただいた佐々木弘明先生が令和6年度末をもって再任用期間を終え、泉館山高校を離任されます。

平成27(2015)年度に同窓会誌の発行や同窓会活動の活性化の取り組みを進めるにあたって、館高愛に満ちた佐々木先生の貢献なくして多くの事が成しえなかったと役員一同大変感謝しております。誠にありがとうございました。

引き続き同窓会には御来賓としてお招きいたします。